

総務文教

厚生

審査の主なもの

- 令和3年度八女市一般会計補正予算(第3号) 【全会一致で可決】
 - ・安全安心対策費(災害時要援護者支援システム構築業務委託料) 231万円
 - ・教育費(小学校屋内運動場トイレ等改修工事費)……………2460万円
 - ・教育費(中学校屋内運動場トイレ等改修工事費)……………2440万円
- 八女市立川崎小学校存続に関する請願 【賛成多数で採択】
- 地方財政の充実・強化を求める意見書採択のための請願 【賛成多数で採択】

審査の主なもの

- 令和3年度八女市一般会計補正予算(第3号) 【全会一致で可決】
 - ・民生費(児童福祉総務費)……………7236万円
 - ・衛生費(葬祭場費)……………129万円
- 新型コロナ予防ワクチン接種に関して個人の権利確保を求める請願 【全会一致で不採択】

「要援護者支援台帳」の整備へ

問 委託料の内容と目的は。

答 避難時に配慮が必要な方のデータを一元化し、統合した「要援護者支援台帳」を整備するものである。「要援護者支援台帳」を行政区長、民生委員へ配付し、台帳をもとに避難行動につなげることを目的としている。

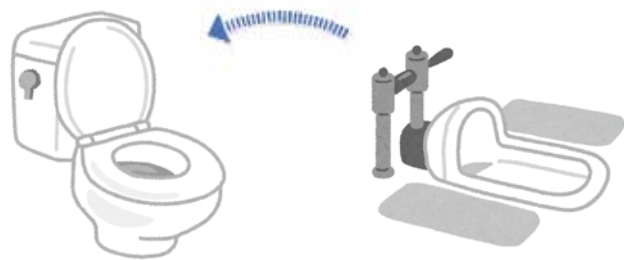
問 どのような効果を見込んでいるのか。

答 行政区長及び民生委員の業務間の連携を図り、情報共有により個別訪問等の重複を避けることができ、作業効率化、情報の正確性の向上が期待される。



問 小中学校屋内運動場トイレ等の改修工事を実施し、何力所改修するのか。

答 和式から洋式への改修が、小学校23力所、中学校19力所の合計42力所である。また、洋式に洗淨便座を設置する工事が、小学校54力所、中学校65力所の合計119力所である。



低所得子育て世帯に児童手当 給付 コロナ対策第8弾

児童一人5万円^①と1世帯に3万円^②を支援

問 子育て世帯生活支援特別給付金の交付時期、申請方法は。またマイナンバーカード使用による給付事務の簡素化はできるのか。

答 申請が不要の積極支給と申請が必要な申請支給がある。

積極支給は税が確定後に該当者を把握し、通知

を発送する。申請支給は7月上旬から受付を開始し、双方とも初回支払いは7月中旬を予定している。マイナンバーを活用し、多くの積極支給が可能となるが、実務は特に変わらない。

問 対象者のリストアップはどうなっているのか。漏れはないのか。

答 基本的には18歳までの児童が対象であるが、

※子育て世帯生活応援金 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯を支援するもの(ひとり親家庭応援金等をすでに受けた児童・世帯は対象外)

児童手当と特別児童扶養手当の情報で把握できない児童や公務員受給者、今年1月以降に非課税世帯と同程度の所得になられた家計急変による対象者の把握ができないので、民生委員等への周知を徹底していく。



だれでも等しく生きていく

議会の動き



5月

- 6日 議会だより編集委員会
全員協議会
新型コロナウイルス対策委員会
議会運営委員会
タブレット端末利活用専門部会
- 7日 新型コロナウイルス感染症対策に関する
要望書提出
- 13日 新型コロナウイルス対策委員会
予防接種受付対応等の口頭申し入れ
- 17日 建設経済常任委員会
- 19日 議会基本条例検証作業部会
総務文教常任委員会
- 28日 議会運営委員会

6月

- 2日 令和3年第3回定例会(招集日)
全員協議会
新型コロナウイルス対策委員会
- 7日 本会議(一般質問)～9日
タブレット端末利活用専門部会
- 9日 厚生常任委員会
- 10日 本会議(議案審議)
予算審査特別委員会全体会
市民と議会の意見交換会正副班長会
議会だより編集委員会
- 11日 議会運営委員会
各常任委員会
- 15日 厚生常任委員会
議会運営委員会
予算審査特別委員会全体会
令和3年第3回定例会(最終日)
全員協議会
議会運営委員会
- 24日 予算・決算説明資料に関する要望書提出
- 29日 研究学習受入(福島高等学校学生)

7月

- 2日 議会だより編集委員会
- 7日 全員協議会
新型コロナウイルス対策委員会
議会運営委員会
- 13日 議会だより編集委員会
議会運営委員会
市民と議会の意見交換会(分野別)
- 14日 総務文教常任委員会
- 20日 八女地区消防組合議会
- 21日 厚生常任委員会
- 22日 市民と議会の意見交換会(分野別)
- 27日 議会基本条例検証作業部会
- 28日 市民と議会の意見交換会(分野別)

建設経済

審査の主なもの

○令和3年度八女市一般会計補正予算(第3号) 【全会一致で可決】

・農林水産業費(農業振興費).....	1753万円
・商工費(商工振興費).....	2496万円
・商工費(観光費).....	1423万円

地元産農産物を活用し農業者を支援



八女の花でアレンジメント

問 地元産農産物の消費拡大のことだが、農業の現状を見たときに、1700万円対策は十分か。

答 学校給食への活用、花の提供及びお茶の配布をすることで、多くの市民に地元産品の魅力を再認識いただき家庭内の消費拡大につなげたい。

問 感染者が減っても経済が急に向くことはあり得ない。地産地消の取り組みがさらに必要だが今後の考えは。

答 昨年度は、農産物単価が下がり、先行き不安

な状況の中、意欲が低下しないよう農林漁業応援金を交付し、大きく落ち込んだ農家へは、国の次期作支援金や持続化給付金を併用し対応した。今後も農家の生産意欲や所得の低下を招かないよう取り組んでいく。

問 取扱店は、使用された商品券の換金時に手数料

助成金 プレミアム付商品券

料を差し引かれていると聞か、負担となり不本意な面があるのでは。

答 プレミアム分は、県と市の補助金それに各商工団体と取扱店の負担で捻出されている。取扱店になることで負担は生じるが、それ以上のメリットがあると考えている。発行団体からの要望を受けて予算措置をしてきたが、これまでの実施状況を見ながら協議・検討していく。